

例会 NO 103

No 3- 19 1992. 11. 25 発行



1992~1993RIテーマ
まことの幸福は
人助けから

RI会長 クリア・タフターマン

Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第103回例会報告(11/18)

司会 SAA 足立潤三郎
 ☆点 鐘 会長 赤尾 恭雄
 ☆ロータリーソング 「奉仕の理想」
 ソングリーダー SAA 今井 正司
 ☆お客様紹介 会長 赤尾 恭雄

桜井 良子様 (卓話講師:
 日本テレビニュースキャスター)
 小西平三郎様 (東京多摩RC)
 沢目のぶ子様 (多摩ニュー・タイムズ社)
 [会員夫人]
 田中タツ様、足立卷子様、遠藤秀子様、
 宮本朱美様、新海素子様、戸田晴実様、
 赤尾ヨシ子様



☆会務報告 会長 赤尾 恭雄

★ロータリー財団及び米山記念奨学会寄付について。今月は「ロータリー財団月間」であり、国際レベルの人道的、教育的プログラムを通じて世界理解と平和を達成する財団の目的をご理解のうえ、是非とも全員が

準フェローとして目標達成にご協力下さい。なお、米山記念奨学会寄付についても同様にご協力下さい。



★「バランスのとれたクラブ業績」の推進について。クラブ奉仕委員長、職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長は「バランスのとれたクラブ業績に対する会長賞」に示されている各奉仕部門の指定項目から、達成可能な2項目を選択のうえ、至急幹事宛届出をお願いします。

★RI理事指名委員会はアジア地域ゾーン1の1994~96年度ロータリー理事ノミネーターとして、当地区東京銀座RCの服部禮次郎氏を指名した。

★1994~95年度国際親善奨学生の募集が開始された。当クラブへの応募があれば、スポンサークラブとして所定の対応をとる予定である。(応募締切……1993年1月20日)

☆幹事報告 幹事 遠藤 二郎

★改訂版手続要覧ができましたので注文を受け付けます。必要な方は事務局までお申し込み下さい。

★多摩シネマフォーラムが11/20~23まで開催されます。チケットの申込みは事務局へ。

*卓話は営業目的で行われたいよう、今後は事前に、テーマ、内容等厳密にチェックし、注意します。

*例会時間を節約するため、今後は幹事報告を回覧形式にします。クラブに入ってくる情報が沢山あるので、取捨選択して重要なものを報告します。

☆委員会報告

★出席委員会 出席委員 城倉 正博
〔出席報告〕 (出席免除者 2名)

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	44	36	3	5	88.64%
前回訂正	44	33	6	5	88.64%

〔先週のメークアップ〕

萩生田茂夫、今井 正司、北村 幸彦、中山順一郎、高野 範城、津守 弘範

〔欠席届者〕

萩生田茂夫、海野 栄一

〔欠席者〕

大松 誠二、小坂 一郎、横倉 恒雄

★親睦委員会

ニコニコBOX

親睦委員 宮本 誠

藤本 吉文 今日は桜井キャスターをお迎えして、卓話が楽しみです。

赤尾 恭雄、北村 幸彦、猪股 末男、杉田 誠、宮本 誠、隅 耕造 以上同文

宮本 誠 須藤さん退院おめでとうござります。身体の調子もだいぶ良いようですね。

遠藤 二郎、足立潤三郎、以上同文

伊神 稔 本日が年末ゴルフの締切り日です。

横倉 舜三 おかげさまで 500号発行ができました。

今井 正司 先週欠席しました。メークアップはしました。

橋口 洋三 明日のスクラッチ会、相模原CCで行われるので。

吉沢 洋景 今日はゆっくりと食事をさせて頂きます。

森田 舞子 女性のお客様を大勢お迎えして嬉しいです。

以上合計 35,000円

~~~~~【3分間ミニ情報】~~~~~

「地区・地区協議会」

津守 弘範

ロータリーの地区とは、国際ロータリーの全世界のクラブの管理運営上、しかるべき数のクラブが存在する地域を地区として設定している。一般にクラブ数が40以下では地区は



設けないことになっている。また既存の地区でクラブ数が増えた場合は、その地区を2地区に分割することもある。本年7月現在、日本の地区数は33、全世界は501です。

地区協議会はその地区内全クラブの次期会長・幹事をはじめ、次期ガバナーあるいはR1理事会の指定した人々が出席して行われる会合。ロータリー全般について指導を行い、情報を提供し、地区活動の調整その他を目的とする。

「エバンストン」

田中 實

米国イリノイ州のエバンストン市のことで国際ロータリー(R1)の中央事務所の所在地であるため、ロータリーで単にエバンストンと表現した場合は、R1自体あるいはその中央事務所のいずれかを意味する。



国際ロータリーの事務局は、全世界のロータリー・クラブにとってロータリー関係の資料情報交換所として機能するものであり、それら資料及び情報を集め、分析し、翻訳し、その配布に当たっています。

広報活動として、「ロータリーの友」にエバンストン便りが掲載され、世界の情報を知ることができます。例えば「ロータリーの友」11月号には、1994~1995年度R1会長ノミネーに、イギリスのウィリアム・H・ハントレー氏が指名された。

・クリフ・ダクターマンR1会長の今月の動静が記載

・その他の動き、及び統計（会員総数、地区数、クラブ数、加盟国数等）が記載されている。

〇〇〇 【囲碁のはなし(4)】 ●〇〇〇

囲碁部 奥田 文夫

囲碁、将棋、チェス、ブリッジ、これらの競技には等級（グレード）があります。

囲碁は数の多い級（初級は30級位でしょうか）から徐々に数の少ない級（1級）まで上り、次に、初段、二段、三段と数が多くなるに従って強い人ということになります。

囲碁の世界では一段でも差があると、師弟の関係だといわれています。一般に「あの人には一目置く」と言ったら大変な尊敬を表しています。これは囲碁用語（別途書く予定）からきています。それなのに我が囲碁部には5目も6目もハンティキャップを付けて、師にハメ碁を仕掛け、掛け物をむしり取っていく不屈きな弟がいます。これは品の問題です。

品と言えば、囲碁は強いばかりでは駄目です。品格を備えないと、段位の免状は得られません。初段の品、二段の品と、古来表現が定められています。ちなみに、これを延べますと、

初段のことを……守拙 二段 ……若愚  
三段 ……闘力 四段 ……小巧  
五段 ……用智 六段 ……通幽  
七段 ……具体 八段 ……坐照  
九段 ……入神

現在、アマチュアで許されている最高段位は七段、プロは九段です。アマの七段とプロの七段では強さにおいて雲泥の差がありますが、品においては同じということです。

小生が許されているのは用智の段位で、今後とも品位を高めよと言われていました。まだまだ幼稚なのでしょう。

皆さんはどのような品位、品格をお持ちですか。じっくりと考えてみて下さい。

~~~~~ 【卓話】 ~~~~~

【報道裏話】

—— アメリカ大統領選について ——

日本テレビ キャスター 桜井 良子様
本日はお招き頂きまして有難うございます。

30分などでは来ないと云う風におっしゃれましたが、いくらでも参りますので、今後末永くお付き合いをお願いしたいと思います。

今日は、報道の裏話しと云う事ですが、今回の大統領選挙を取材しまして本当にびっくりしたのはヒラリー夫人の言動です。クリントン候補の女性問題がマスコミ等で持ち上がった時、彼女はこう言いました。「いまこうして私がクリントンの隣りにいるということは、彼がアメリカの大統領としてふさわしい人物であり、夫としても尊敬に値するからです。」「彼に投票するという事は私に投票することですから、私を選んで下さい。」こうタンカを切って、この難関を乗り切ったのです。過去にこんな大統領候補夫人がいたでしょうか。彼女の年収はクリントン州知事の3倍ぐらいあります。大統領夫人になっても彼女がかなりリードしていくのではないのでしょうか。民主党のクリントン氏が本当に政権に就いたら、日米関係がかなり変わって来ると思われます。テレビでは時間の制約があって詳しいお話が出来ませんが、今日その辺をもう少し詳しくお話してみようと思います。

新しい46才のクリントンという大統領と、44才の副大統領が実際にホワイトハウスの主になった時、何が起こるかということ、2つの観点から眺めれば良いと思います。1つは伝統的に共和党から民主党の政策に移るという変化、もう1つは世代の変化で、ブッシュ氏は68才でなんとなく優しい部分があるとあります。しかしこれが46才と44才のコンビになると、この優しさというものがかなりストレートにどんどん直球を投げてくるのではないかと思います。この2つの意味で日米関係だけでなく、アメリカの外交政策は変わって来ると思います。実は日本について彼は具体的な事はまだ何も言っておりません。ただ様々な発言をしていあす。その第1は、彼が民主党の大統領候補として指名された時、その受諾演説で日本に関する件が明確に出てくる訳



です。例えば、これまでのアメリカの様に日本の首相に同情される様なアメリカであってはならないと言っているのです。この同情を掛けられたという事は、あの若い世代の大国アメリカを背負って立とうという世代にとっては、「第2次大戦の時あれほどみじめに敗れ去って、アメリカの援助で立ち直った日本が我々大国アメリカに同情するとはなんたる事だ」と言う意味の反発がそこに有ると云う事を我々はこれからの民主党政権下の日米関係の大前提として覚えておかなければいけない事だと思えます。そしてクリントン政権の気持ちと云うものはポジティブなものよりネガティブのものの方が強いという事が言えると思えます。

又、クリントン氏は、アメリカは経済を立ち直らせなければならぬと言っています。その為には、まず4年間で2200億ドルの基本的な投資をしたい、初年度は500億ドル(約6兆5000億円)を従来の公共投資他に加えて研究開発等基礎的な力を付け、日本等諸外国との競争力を付けたいと言っておりますが、現在の米国の経済状態ではこの500億ドルは大変なお金であり、このお金を財政赤字に苦しむ米国がどこからひねり出すのかを私達は見なければいけません。彼はいくつかの提案をしており、1つは連邦職員の数減らして節約するという事ですがこれは不可能に近いと思えます。次に彼が提案したのは、国の所得を階層別に見てトップの2%の層に税を重くするという事です。しかし、これも税逃れの措置等で外国にお金が出てしまい不可能です。そこで3番目の具体的な提案が日本にとっては震え上がる様なものでございます。それは外国の企業に対する徴税を強化すると言っている訳です。この場合の外国とは、クリントン氏は明白に「日本」という国を頭に置いているという事です。彼は「車」「コンピュータ」と2つの業種を特に上げました。こ



ういう外国の、つまり日本の企業は米国に合弁会社を作っており米国に雇用の機会をもたらしているのは確かであるが、米国に支払う税金は少なすぎると言っております。そして

彼はこれらの外国企業から年間450億ドル徴税出来ると言っている訳です。そしてこれを500億ドルの国内投資に廻しますと言っている訳です。(中略)

彼は又、スーパー301条を復活させようとしております。しかも「より強く」「よりきびしく」という形で復活させるという事です。これをテコにして閉ざされている日本の市場をこじ開けようというのが、あの若い2人のコンビの狙いだと思わねばなりません。そしてこの考え方はさらに防衛問題にもつながってくる訳です。彼は米国の軍力は世界最大にならなければならないと言いました。彼のいう軍事大国とは、単に武器、弾薬を大量に持つだけではだめで、軍事大国の基礎は経済力であると言っている訳です。強大な軍事大国の裏には強大な経済大国でなければならない、そこで我々ももっと経済に注意力を払わねばならないという事で、ここでも又「経済」、そしてそのターゲットになるのは「日本」ということです。

この様に考えて来ますと、あの若手の「クリントン・ゴア」コンビとつき合っていくのは相当の覚悟が無ければ、日本は土俵の外に突き飛ばされてしまいます。その為には今の日本に於いても新しい世代が一度国のリーダーシップを取って見ないとだめではないかと思えます。今のままの方々が日本の政治をこのまま動かし続けたら、私は米国に小突き回されるだけの小国日本に成り果てるのではないかと心配をしております。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄 副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
幹事：遠藤二郎 杉田 誠・佐伯和廣・隅 研造
会報委員長：奥田文夫 小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30